

# 令和4年度「香川県県政世論調査結果(速報)」

香川県では、県政の諸問題について、県民の方々の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とするため、毎年度「県政世論調査」を実施しています。

今年度は、5テーマについて5～6月に調査を実施しました。「県政の重要度と満足度」については、平成14年度から毎年度実施しています。

## ◆調査の内容

### 1. 高齢者の保健福祉について

「第9期香川県高齢者保健福祉計画（2024年度～2026年度）」の策定に向けて、介護予防や認知症施策など今後の高齢者施策の参考とするために、高齢者の保健福祉に関するご意見をお聞きしました。

### 2. 少子化対策について

「第2期香川県健やか子ども支援計画（令和2年度～6年度）」で実施している施策の分析・評価を行い、計画の中間見直しのための基礎資料とするために、少子化対策に関するご意見をお聞きしました。

### 3. 消費生活について

「香川県消費者教育推進計画」の次期計画（令和5年度～9年度）策定に当たっての基礎資料とするために、消費生活に関するご意見をお聞きしました。

### 4. 健康診断の受診について

「第4期医療費適正化計画」の次期計画（令和6年度～）の策定に向けて、住民の健康保持（定期健康診断受診等）などに関するご意見をお聞きしました。

### 5. 県政の重要度と満足度について

「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」の各施策について、成果や課題を分析しながら計画を推進するため、「重要度」と「満足度」などをお聞きしました。

## ◆調査の概要

調査地域	香川県全域
調査対象	県内在住の満 18 歳以上の男女 3 千人
抽出方法	選挙人名簿層化二段無作為抽出
調査方法	郵送法
調査期間	令和 4 年 5 月 12 日～6 月 2 日
回収結果	有効回収数 1,606 (有効回収率 53.5%)

※詳しい調査結果は 11 月に発表する予定です。

※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、小数第 2 位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。

## ◆ウェイトバック集計

平成 29 年度より、調査結果を県政へ反映させるに当たり、年齢による回収率に差が生じる傾向にあるため、より実態に近い参考値として、ウェイトバック集計の導入を行っています。

ウェイトバック集計とは、実際の本県の「年齢別」人口構成比に合わせて、回収結果を補正するものです。

なお、この調査結果は速報のため、主な調査結果については、ウェイトバックした値は記載していません。調査回答者の属性及び単純集計結果（調査票）については、( ) 書きで併記しています。

$$\text{ウェイト値} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{年齢区分別回答数}} \times \frac{\text{年齢区分別人口}}{\text{香川県 18 歳以上人口}}$$

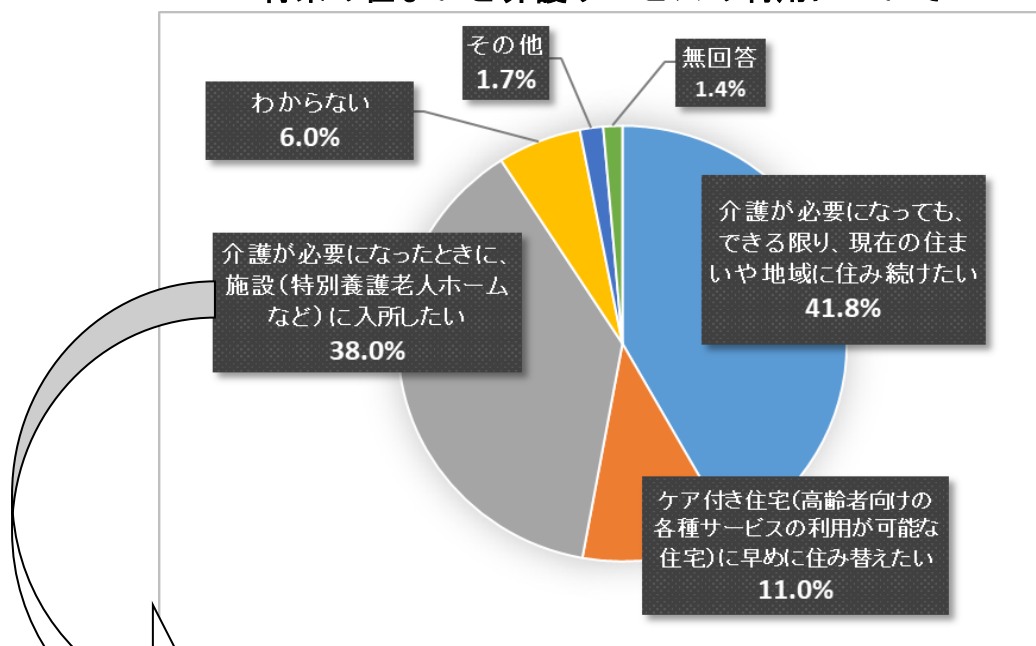
## ◆主な調査結果

### 1. 高齢者の保健福祉について

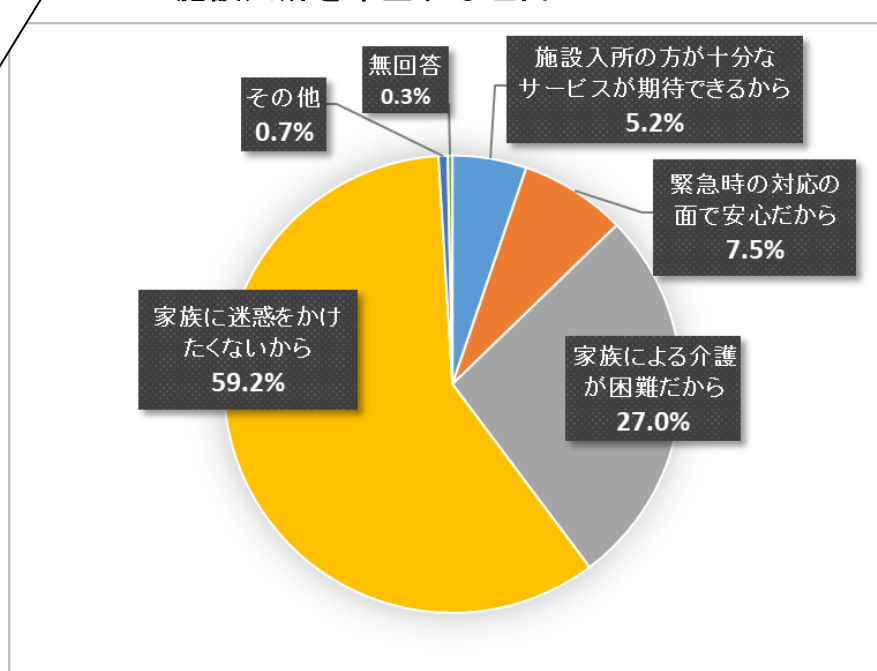
将来の住まいと介護サービスの利用について、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」（41.8%）と回答した人が最も多く、続いて「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」（38.0%）、「ケア付き住宅（高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅）に早めに住み替えたい」（11.0%）となっている。

また、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」と回答した人が施設入所を希望される理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」（59.2%）が最も多く、6割近くを占めている。

#### 将来の住まいと介護サービスの利用について



#### 施設入所を希望する理由について

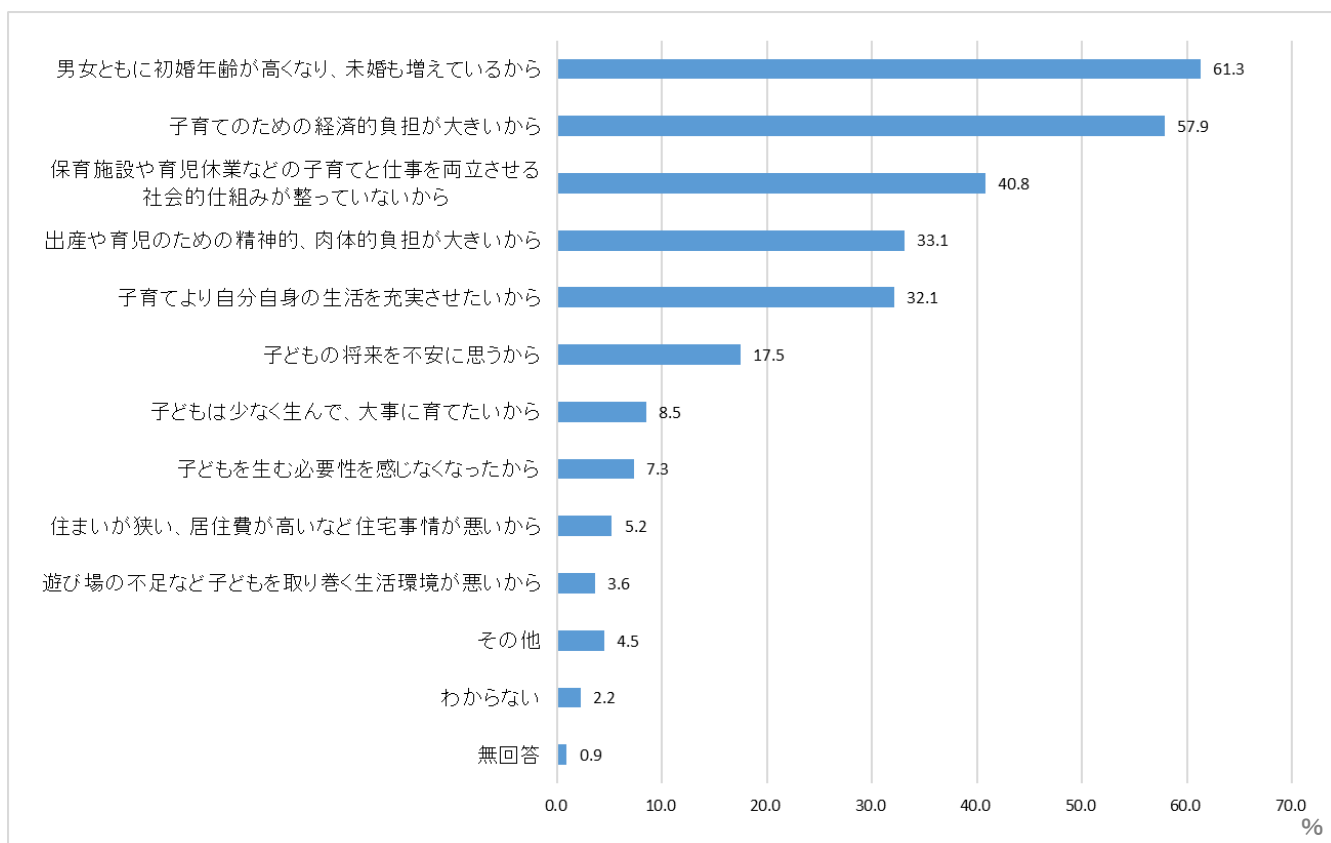


## 2. 少子化対策について

出生率の低下の原因について、「男女ともに初婚年齢が高くなり、未婚も増えているから」が61.3%と最も高く、次いで「子育てのための経済的負担が大きいから」が57.9%となっている。

また、少子化対策・子育て支援施策のうち、最も重要だと思う施策及び充実度に不満がある施策について、最も重要だと思う施策は、「保育料や教育費など、子育てに伴う経済的負担の軽減」が43.0%と最も高くなっており、充実度に不満がある施策は、「労働時間の短縮など仕事と家庭生活の両立支援」が28.8%と最も高くなっている。

出生率の低下の原因（3つまで）



## 少子化対策・子育て支援施策のうち最も重要だと思う施策と 充実度に不満がある施策（それぞれ3つまで）

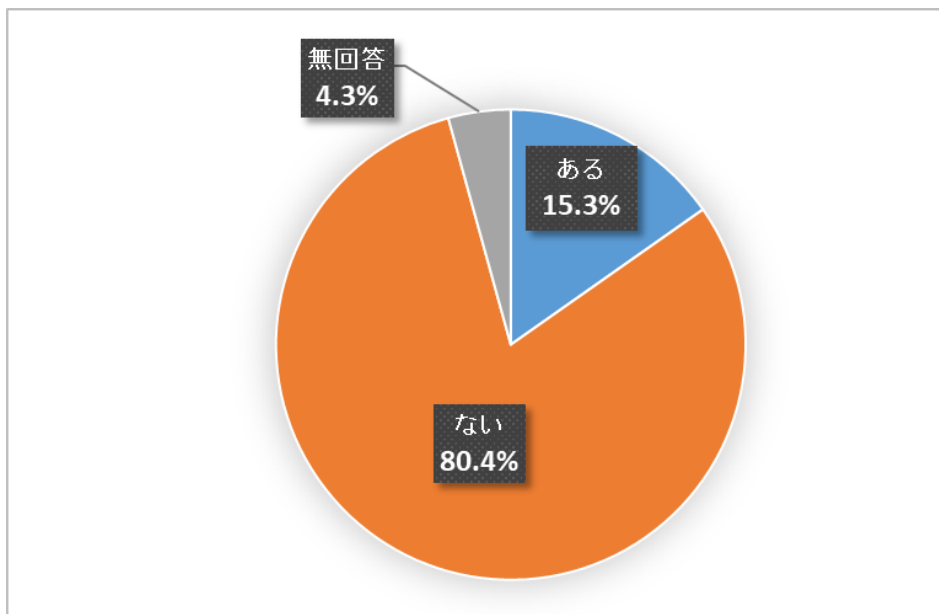


### 3. 消費生活について

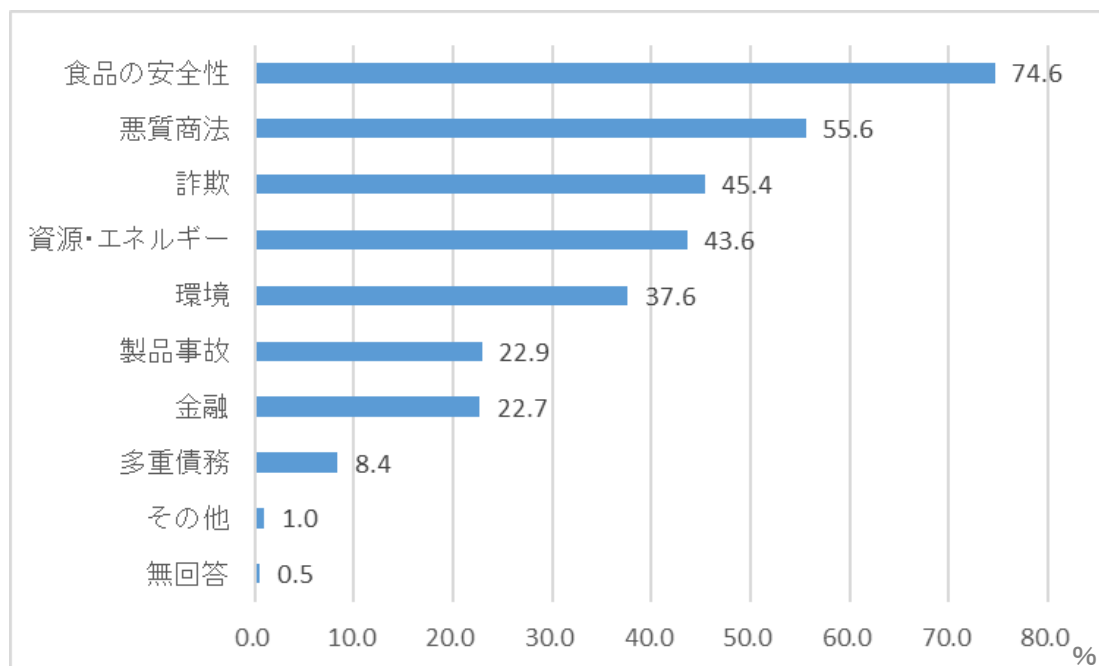
消費者教育（学校の授業、各種講座や出前講座等）を受けた経験について、「ある」が15.3%、「ない」が80.4%となっている。

また、関心がある消費者問題について、「食品の安全性」が74.6%で最も高く、次いで「悪質商法」が55.6%、「詐欺」が45.4%、「資源・エネルギー」が43.6%などとなっている。

消費者教育の受講経験



関心がある消費者問題（あてはまるものすべて）

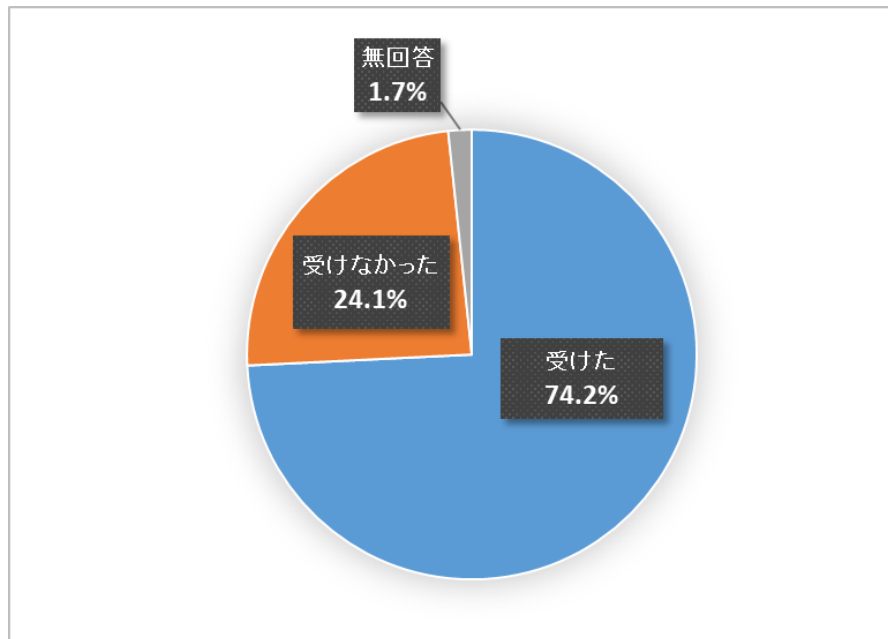


#### 4. 健康診断の受診について

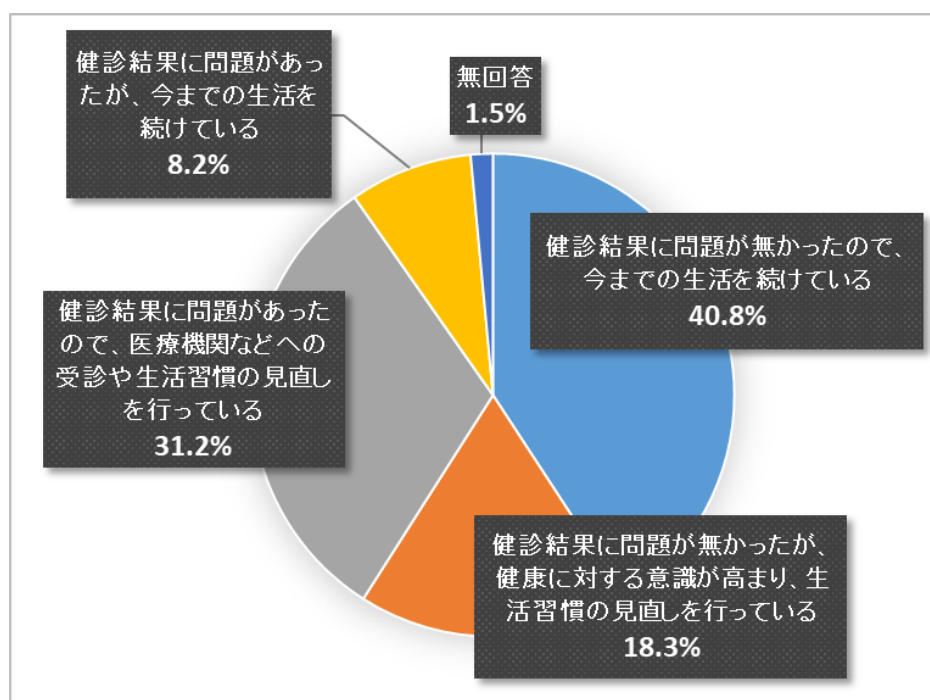
令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）に健康診断を「受けた」と回答した人は74.2%であった。

そのうち、健診結果を確認した後の生活については、「健診結果に問題が無かったので、今までの生活を続けている」が最も多く40.8%、続いて「健診結果に問題があったので、医療機関などへの受診や生活習慣の見直しを行っている」が31.2%、「健診結果に問題が無かったが、健康に対する意識が高まり、生活習慣の見直しを行っている」が18.3%となっている。

#### 健康診断の受診



#### 健診結果確認後の生活



## 5. 県政の重要度と満足度について

「『みんなで作るせとうち田園都市・香川』実現計画」の各施策（26分野）について、どのくらい重要と考えているか、現状にどのくらい満足しているか、それぞれ五段階で評価を聞いた。

重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、高い順に『防災・減災社会の構築』（90.3%）、『安心できる医療・介護の充実確保』（88.0%）、『安心して暮らせる水循環社会の確立』（86.9%）であった。

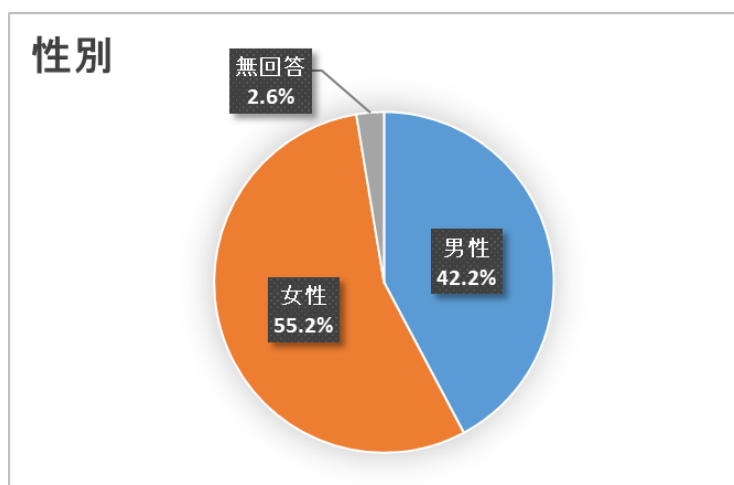
また、満足度について、「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた割合は、高い順に『安心できる医療・介護の充実確保』（17.0%）、『防災・減災社会の構築』（16.7%）、『子育て支援社会の実現』（16.2%）であった。

（参考）『みんなで作るせとうち田園都市・香川』実現計画 施策体系

基本目標	基本方針	施策（分野）
せとうち田園都市の確かな創造	1 安全と安心を築く香川	(1) 防災・減災社会の構築
		(2) 子育て支援社会の実現
		(3) 健康長寿の推進
		(4) 安心できる医療・介護の充実確保
		(5) 地域福祉の推進
		(6) 人権尊重社会の実現
		(7) 安心して暮らせる水循環社会の確立
		(8) 安全で安心できる暮らしの形成
	2 新しい流れをつくる香川	(9) 定住人口の拡大
(10) 商工・サービス業の振興		
(11) 雇用対策の推進		
(12) 外国人材の受入れ支援・共生推進		
(13) 交流人口の回復・拡大		
(14) 農林水産業の振興		
(15) 県産品の振興		
(16) デジタル化の推進		
3 誰もが輝く香川	(17) 交通ネットワークの整備	
	(18) 教育の充実	
	(19) 男女共同参画社会の実現	
	(20) 青少年の育成と県民の社会参画の推進	
	(21) 魅力ある大学づくり	
	(22) 環境の保全	
	(23) みどり豊かな暮らしの創造	
	(24) 活力ある地域づくり	
	(25) 文化芸術による地域の活性化	
	(26) スポーツの振興	

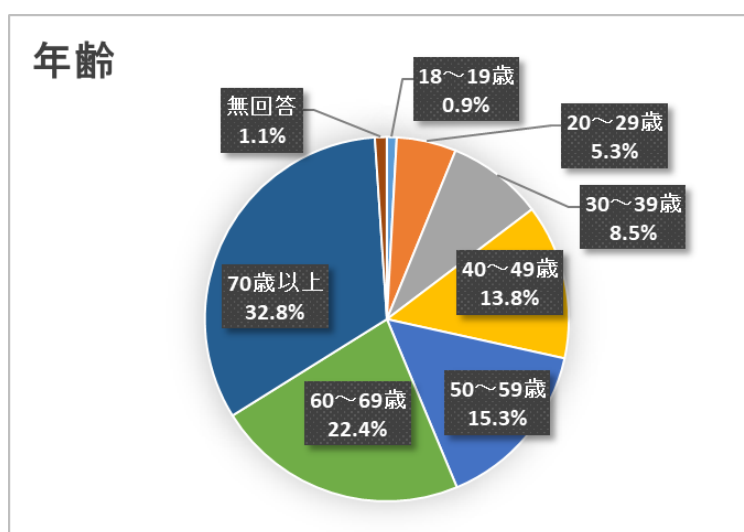


### ◆調査回答者の属性



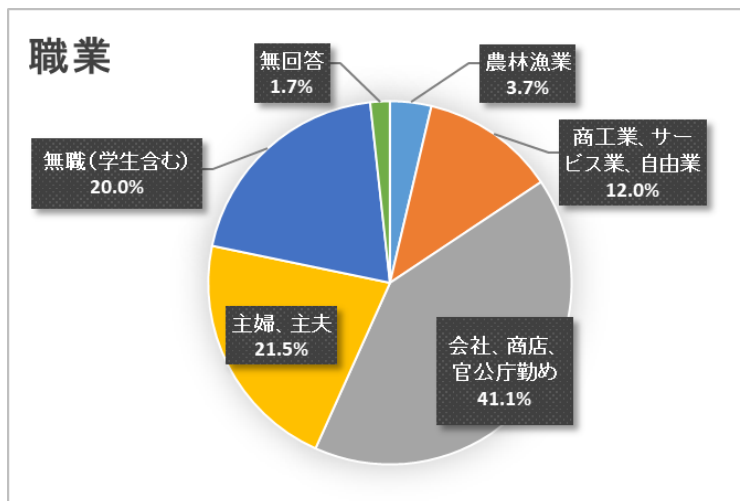
区分	回答者数(人)	構成比(%)
男性	678 (664)	42.2 (41.3)
女性	886 (894)	55.2 (55.7)
無回答	42 (48)	2.6 (3.0)
合計	1606	100.0

※ ( )内の数字はウェイトバックした値



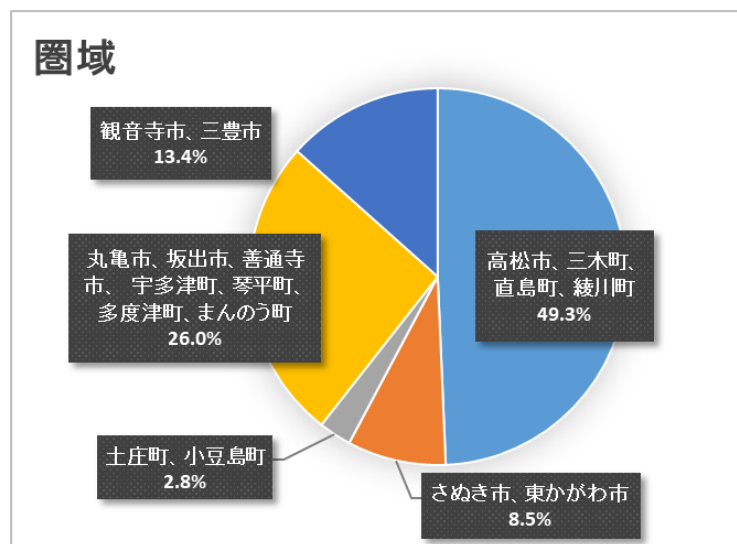
区分	回答者数(人)	構成比(%)
18~19歳	14 (35)	0.9 (2.2)
20~29歳	85 (149)	5.3 (9.3)
30~39歳	137 (190)	8.5 (11.8)
40~49歳	221 (262)	13.8 (16.3)
50~59歳	245 (235)	15.3 (14.6)
60~69歳	360 (241)	22.4 (15.0)
70歳以上	527 (477)	32.8 (29.7)
無回答	17 (17)	1.1 (1.1)
合計	1606	100.0

※ ( )内の数字はウェイトバックした値



区分	回答者数(人)	構成比(%)
農林漁業	59 (50)	3.7 (3.1)
商工業、サービス業、自由業	192 (198)	12.0 (12.3)
会社、商店、官公庁勤め	660 (714)	41.1 (44.4)
主婦、主夫	346 (312)	21.5 (19.4)
無職(学生含む)	321 (304)	20.0 (18.9)
無回答	28 (28)	1.7 (1.7)
合計	1606	100.0

※ ( )内の数字はウェイトバックした値



区分	回答者数(人)	構成比(%)
高松市、三木町、直島町、綾川町	792 (803)	49.3 (50.0)
さぬき市、東かがわ市	136 (135)	8.5 (8.4)
土庄町、小豆島町	45 (45)	2.8 (2.8)
丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町	418 (421)	26.0 (26.2)
観音寺市、三豊市	215 (202)	13.4 (12.6)
合計	1606	100.0

※ ( )内の数字はウェイトバックした値